

いちのみやの芸術文化

■ これからの催し

一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部 岡崎 美穂

デザイン・工芸・彫塑部門

「活動」 想いをカタチに

吟剣詩舞部門 一宮吟剣詩舞協会 五藤 龍舟

■ 「エッセイ」 一宮吟剣詩舞道大会に参加して

■ 特集「**鷺津** 幽林と有隣舎」

わしづ ゆうりん ゆうりんしゃ

有隣舎碑除幕式
(右側の女性は小嶋くるみさん)

2018.3

第44号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

鷺津幽林と有隣舎



▲有隣舎（昭和13年頃）[一宮市立中央図書館提供]

「鷺津有隣舎之碑」建つ

現在の「一宮市丹羽字南屋敷に「鷺津有隣舎之碑」が建っているのをご存知でしょうか。昭和三十七年（一九六二）八月一日、その功績を称え、有隣舎碑が建立されました。当日は五代鷺津香雲の孫・小鳩くるみ（鷺津名都江）さんを迎えて、除幕式が盛大に執り行なわれました。式典では「一宮市立西成中学校の生徒により「有隣舎を偲ぶ歌」が合唱され、小鳩くるみさんも童謡を独唱しました。

有隣舎の前身は、宝暦年間（一七五一〜一七六四）に丹羽村の鷺津幽林が開いた漢学塾「萬松亭」に始まります。「有隣舎」と改めたのは、幽林から数えて三代目の益齋の時です。その後、蓉裳、香雲と継承されましたが、明治十年代をすぎ学校教育の展開とともに衰退し、明治三十年代に閉鎖されました。その間、約百五十年間にわたり漢詩、漢学の世界で多くの人々に影響を与え、鷺津毅堂、大沼竹溪、大沼沈山、森春濤、佐藤牧山、服部牧山といった著名人を多数輩出しました。

鷺津家と幽林

鷺津幽林は、尾張国丹羽郡丹羽村に生まれました。文久二年（一八六二）五月二十六日付「鷺津蓉裳宛鷺津毅堂書翰」（『愛知県史資料編二〇学芸』二〇一二年）によれば、「鷺津」は爾波神社の祭神・神八井耳之命の末裔といえます。また同家から出家した信覚という僧侶が記した「系図」によると、「鷺津」の始まりは鎌倉時代の頃、鷺津という地の地頭に補された時に鷺津太郎兵衛と名乗ったことに始まるとされ、その後、室町時代初期に尾張の守護であった土岐家に仕えたといえます。また土岐家から桔梗紋の衣服や器物を拝領している由縁もあり、鷺津家の紋は桔梗紋になっています。

さて、幽林は享保十二年（一七二七）に生まれ、名古屋・京へ出て医学・儒学を学びました。文化十一年（一八一四）の『幽林先生遺稿』によれば、京都で芥川丹丘、武田



▲現在の鷺津有隣舎之碑

梅龍の門に学び、妙法院宮親王に召され親王の侍読となりましたが、親の病のために辞し、名古屋で医者として活躍のち、帰郷し、宝暦年間(一七五一〜六四)に私塾を開きました。それが有隣舎の前身となる「萬松亭」です。その後、寛政十年(一七九八)十月十七日にこの世を去るまで、多くの門弟を育て上げました。



▲有隣舎を偲ぶ歌[一宮市博物館蔵]

細野要齋「有隣舎」を訪れる

三代目の益齋の時に、萬松亭から有隣舎に改名しましたが、有隣とは『論語』の里仁篇「徳不孤 必有隣(徳は孤ならず、必ず隣あり)」からきています。また有隣が幽林に繋がるともいわれています。三代目の益齋の時には、門人も尾張・美濃・出雲・讃岐・遠江などから集まり最盛期を迎えました。

幕末になると尾張藩の儒者・細野要齋が有隣舎を訪れています。その記事が『感興漫筆』巻二十八(名古屋叢書、一九六一年)にあります。要齋は、万延元年(一八六〇)十月六日、丹羽郡丹羽村の臨済宗東光寺を訪ね、その足で四代鷺津五郎(蓉裳)を訪ねています。

同村鷺津五郎を訪ふ。此家、儒を業とする事四世也。五郎江戸に遊学し、帰て後、父祖の業を継ぎ諸生を教授す。門内に諸生の舎二字あり、講堂は玄閑より入て二間あり、屋柱古色あり。此日孟子の講中也、聴徒數十人席に満つ。講畢て、予二人名を通じて相見る。五郎 今年廿八歳 坐に延き点茶午餐を饗す。

▶『感興漫筆』巻二十六

要齋が有隣舎を訪れた時、ちょうど蓉裳が「孟子」の講義をしていました。講堂に

は、堂内一杯となる数十人の門弟が聴講していました。蓉裳は講義を終え、要齋を抹茶と昼食でもてなしました。要齋は蓉裳とわずかな時間座談し、有隣舎をあとにしています。

要齋が有隣舎を訪れた十年後には、学校教育の展開とともに衰退し、多くの門弟を輩出した学舎の灯も徐々に消えていきました。

今年、初代の幽林が亡くなってちょうど二百二十年になります。丹羽村という小さな村に開かれた私塾「有隣舎」を改めて顕彰していく必要があります。

(一宮市博物館 学芸員 石黒智教)

【参考文献】『有隣舎をめぐる人々 生涯百七十年記念 森春瀧とゆかりの詩人展』一宮市博物館、一九八八年、林英夫「漢詩絵の人材を多く育てた有隣舎とその学統」『江戸時代 人づくりに風土記』23ふるさとの人と知恵 愛知、一九九五年、農山漁村文化協会。



▲有隣舎付近の地図

一宮吟剣詩舞道大会に参加して

吟剣詩舞部門 一宮吟剣詩舞協会 五藤 龍舟

一宮吟剣詩舞協会は、高間岳香会長のもと、十一流派派が加入しており、その中の私がいる岳精流は、協会副会長脇田龍精先生の門下とし参加しています。毎年十一月三日の文化の日に大会を開き、昨年は第五十二回大会が開催されました。私個人としましては何年も前よりお世話になり、幾度も出演させて頂きましたが、一昨年より慣れない私が理事に、そしてこのようなエッセイを書かせて頂くことに少々戸惑いを感じています。岳精流では、「真善美」と会詩をお稽古の前や各行事の前に皆で、声高らかに吟じます。

真善美 横山 岳精
詩を吟ずることにより
その真なるものに触れ
詩を吟ずることにより
その善なる心を呼び起こし
詩を吟ずることにより
その美なるものに感動する



式典風景

詩吟を習うこと、難しい漢詩など何故それが出来るのか、又、どうして何年も飽きずに楽しく続けられるのか。「腹式呼吸を使う、それが健康に良い」とか色々言われますが、それは「声の低い人、高い人各々自分の音程で思い切りの声を出せること」というところでしょうか。

ストレス解消には素晴らしい効果があると思います。又、上手に吟じられるときはやはりではありません。



岳風会 神山児童館の皆さん

せんが、吟道は人の道とも言います。知らず知らずのうちに、「礼と節」を学び、人と仲良く助け合い楽しめる趣味とも言えます。発表やコンクールに出たりする時はライバルとなる友人も、普段は皆友達で、私たちはそれを「吟友」と言います。

詩吟の愛好家は高齢者とは限らず、今では幼少年から楽しみ、親子三代で詩吟を楽しんでいられる家族もあります。

「高尚な趣味」で「健康」にも良く、特に吟ずるときの姿勢の良さは人から褒められます。

皆さんも一緒に「元気な声」を出して下さい。きっと気分の良さ



関心流の皆さん

は判って頂けると幸いです。今年の十一月三日は、一宮市木曾川文化会館にて大会を開催致します。ぜひ御参集下さい。一同お待ち致しております。

- | | |
|--------------------|------|
| 一宮吟剣詩舞協会(加入会派と代表者) | 高間岳香 |
| 日本詩吟学院濃尾岳風会 | 脇田龍精 |
| 岳精流日本吟院一宮地区会 | 脇田龍精 |
| 吟道関心流明興支部 | 鵜飼汪洲 |
| 北辰神桜流桜桃会 | 浅野桃丘 |
| 吟道関心流五鈴支部 | 竹内丞洲 |
| 吟道関心流真和支部 | 岸田芳淑 |
| 北辰神桜流桜旗会 | 牛田桃絹 |
| 吟道彩峰流一宮支部 | 畑田彩巧 |
| 神道一刀流宮美支部 | 細井淑華 |
| 西成学園龍峰会 | 脇田龍峰 |
| 柳翠吟剣詩舞道会 | 鵜飼柳翠 |

想いをカタチに

デザイン・工芸・彫塑部門

一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部 岡崎 美穂

私は、一宮美術作家協会デザイン部門で活動しています。

デザインの仕事では、依頼者がいて、その目的と意向に沿うデザインを提案し完成させますが、美術展へ出品する場合には、作家自身がテーマを決め、伝えたいメッセージを独自の世界観を持って表

現するアートのデザインの作品となります。

デザイン部門では、手描きのアナログ表現の作品とコンピュータで制作して出力するデジタル作品を見ることが出来ますが、私は後者の手法を用い作品制作を行っています。

画像加工をした素材達



私の作品制作過程の一例を紹介しますと、まず素材となる対象を撮影し、コンピューターに取り込み、画像加工を行います。そして、その多数の画像を組み合わせるコラージュの技法を用いて表現しています。そのため、たくさんの素材画像が必要となる為、私のカバンの中にはいつも小さなデジタルカメラが入っています。テレビや新聞、インターネット、地域情報紙等に目を通し、少しでも気になると出掛けて行きます。するとそこには物だけではなく、人との出会いも待っています。人との出会いが作品作りのヒントとなる事も少なくありません。



「ザ サウンド オブ ミュージック」

の身近で起こっていること。樹齢何百年の巨木を前に悠久の時へ思いを馳せながら、その幹に居る小さな虫を見つけて命の今を感じたり。。「たくさん感動する」ということは、

作品制作中は、楽しく幸せな時間を過ごすのですが、時折、究極に行き詰まり、悩みの淵にはまり込むこともあります。そんな時に、いつも思い出す言葉があります。

「たくさん感動しなさい。」

これは、同協会デザイン部門で活躍されている森昭夫先生がかけてくださった言葉です。感動という言葉を辞書で調べてみると、「物事に深く感じて、心を動かすこと」とあります。悩み、行き詰まっている時とい

物事の大小に関係なく、心を動かされる度に、その時に感じた気持ちを素直に受け取り、大切にすることなのかもしれません。

私は、デザインとは目に見えない想いを目に見えるカタチにすることだと思っています。見てくださる方の心に、何か少しでも残るような作品となるよう、今後も心掛けていきたいと思っています。

世界規模で起こっていることから自分



「ファンタスティック ナイト」

文化情報



「夢中」 林大樹

《市および市内公共施設の催し予定》

※一宮市博物館・三岸節子記念美術館・尾西歴史民俗資料館について
 ○入館は午後4時30分まで
 ○月曜休館(月曜日が休日の場合は開館)、休日の翌日休館

一宮市博物館

☎(46)3215

企画展「幸せをよぶ花鳥画展」

日時 ● 6月2日(土)～7月8日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 館蔵品の中から、昔の人々が幸せへの思いを植物や動物に託して描いた絵画や吉祥紋の工芸品などを紹介します。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

せつこクラブ

日時 ● ①4月7日(土)②5月19日(土)③6月16日(土)

午後1時30分～3時30分

内容 ● ①節子さんのように、絵筆を使わずに花びらを描いて、美術館に大輪の桜を咲かせます。②美術館の作品をヒントにワークシートの問題を解いて、節子さんの財宝を探します。③美術館でな

どときをしながら、いつもは見られない美術館の裏側を探検します。

対象 ● 市内在住の年長～小学生

定員 ● 各回16名(抽選)

参加料 ● 無料

※要申込み。詳しくは広報3、4、5月号を参照

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

子ども講座

「富田一里塚を守ろう!」

日時 ● 3月24日(土) 午前10時～11時30分(雨天順延25日(日))

内容 ● 美濃路沿いにある「富田一里塚」の古いエノキの木の手入れを体験します。

対象 ● 市内在住・在学の小学5年生～中学生

定員 ● 10名(抽選)

参加料 ● 無料

※要申込み。詳しくは広報3月号を参照

一宮市観光協会

☎(28)9131

第50回一宮桜まつり

日時 ● 3月25日(日)～4月10日(火)
(開花状況により変更あり)

内容 ● 市内の桜の名所を会場に開催します。大江川緑道では午後6時～9時30分までライトアップします。

会場 ● 大江川緑道(大乘公園～須ヶ崎橋)、青木川河畔、浅井山公園、木曾川堤、稻荷公園、真清田神社、尾西緑道

入場料 ● 無料(以下同じ)

第41回一宮つつじ祭り

日時 ● 4月28日(土)・29日(日)

午前10時～午後4時(29日は午後3時まで)

内容 ● 戦国武将浅野長政の屋敷跡に整備された浅野公園に、1,000株以上のツツジが咲き誇ります。

会場 ● 浅野公園

第52回全国選抜チンドン祭り

日時 ● 5月27日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 全国選抜チンドンコンクールやパレード、ステージイベントを行います。

会場 ● 萩原商店街(萩原町)

第17回花しょうぶまつり

日時 6月9日(土)・10日(日)

午前9時30分～午後4時
(9日は午後3時まで)

内容 園内に38種類約1,700株の花しょうぶがあり、5月下旬から6月中旬にかけて見事な花を咲かせます。

会場 萬葉公園高松分園

第18回尾西あじさいまつり

日時 6月9日(土)～16日(土)(ライ)

トアップは午後7時～9時
内容 70種類以上8,000株のあじさいがあり、9日、10日には抹茶の野点や民謡・詩舞・和太鼓などのアトラクションがあります。

会場 御裳神社

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時 3月11日(日)・4月8日(日)

6月10日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター
内容 真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『春の市民短歌吟行会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時 5月18日(金) 午前9時～

行先 永保寺、多治見修道院、タイルミュージアム(多治見市)他
対象 どなたでも
定員 35名(定員を超えた場合は抽選)

参加料 2,500円(昼食付き)
申込み 4月20日(金)までに事務局
(☎85-7075)へ連絡

『瀟聲會漢詩講読会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時 3月24日(土)・4月28日(土)

5月26日(土) 午前10時～

会場 中央図書館

内容 漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方に分かりやすく「唐詩三百首」を解説します。
(初心者歓迎)

講師 三島徹氏(東洋文化振興会会長)

参加料 月2,000円

申込み 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 3月25日(日)・4月22日(日)

5月27日(日) 午後1時～
会場 一宮スポーツ文化センター
内容 当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。
(初心者歓迎)

参加料 無料
申込み 当日直接会場

『春の市民俳句吟行会』

【問合せ先 尾西俳句会】

☎(68)23997

日時 5月15日(火) 午前9時～

行先 花フェスタ記念公園、荒川

豊蔵資料館(可見市)他

対象 どなたでも

定員 35名(定員を超えた場合は抽選)

参加料 3,000円(昼食付き)
申込み 4月20日(金)までに事務局
(☎85-7075)へ連絡

その他 5月26日(土)午後1時から尾西生涯学習センターにて開催する俳句会にて作品を発表します。

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(77)3479

日時 3月25日(日)・4月22日(日)

5月27日(日) 午後1時～
会場 一宮スポーツ文化センター
内容 自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。
(初心者歓迎)

参加料 無料
申込み 当日直接会場

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時 4月3日(火)・5月8日(火)

6月5日(火) 午前10時～
会場 中央図書館



内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。(初心者歓迎)

参加料▼年3、000円
申込み▼当日直接会場

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78) 50002

日時▼4月14日(土)・5月12日(土)

6月9日(土)・午後1時～

(4月は午前9時30分～)

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

『石刀まつり』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(73) 52221

日程▼4月22日(日)

会場▼石刀神社(今伊勢町馬寄)

内容▼山車からくり・献馬

『春季謡曲大会』

【問合せ先 一宮謡曲同好会】

☎(62) 09966

日時▼4月22日(日)午前9時30分～

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼素謡、連吟、仕舞等の発表
入場料▼無料

『尾西絵画クラブ・ポピーの会 合同展覧会』

【問合せ先 尾西絵画クラブ】

☎(62) 85335

日時▼4月30日(月)振替6日(日)

(1日を除く)

午前9時～午後5時30分

日は午後1時から、6日は午後4時まで)

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼講師の三輪清弘先生の指導で学ぶ、尾西絵画クラブ、ポピーの会の2団体による合同展を開催します。

入場料▼無料

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼講師の三輪清弘先生の指導で学ぶ、尾西絵画クラブ、ポピーの会の2団体による合同展を開催します。

入場料▼無料

『イエローオーカー 絵画展』

【問合せ先 イエローオーカー】

☎(68) 55588

日時▼5月15日(火)～20日(日)

午前9時～午後5時

(15日は午後1時から、20日は午後4時まで)

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼会員達による力作を展示します。

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼会員達による力作を展示します。

入場料▼無料

『モア会第16回水彩画展』

【問合せ先 楽しく描こう会】

☎(62) 76477

日時▼5月22日(火)～27日(日)

午前9時～午後5時

(22日は正午から、27日は午後4時まで)

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼講師の小川護先生の指導で学ぶ、楽しく描こう会、尾西ガリバンバンの会、パレット会の3団体による展覧会を開催します。

入場料▼無料

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼講師の小川護先生の指導で学ぶ、楽しく描こう会、尾西ガリバンバンの会、パレット会の3団体による展覧会を開催します。

入場料▼無料

会場▼三岸節子記念美術館

内容▼講師の小川護先生の指導で学ぶ、楽しく描こう会、尾西ガリバンバンの会、パレット会の3団体による展覧会を開催します。

入場料▼無料

『サロンコンサート』

【問合せ先 一宮音楽家協会】

☎(87) 28277

日時▼6月3日(日) 午前11時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼一宮音楽家協会会員による演奏会です。

入場料▼無料

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼一宮音楽家協会会員による演奏会です。

入場料▼無料

日時▼6月3日(日) 午前11時30分～(開場は30分前)

会場▼一宮市民会館

内容▼日舞発表会

入場料▼無料

『2018 一宮総合美術展』

【問合せ先 生涯学習課】

☎(85) 7075

日時▼6月7日(木)～10日(日)

午前10時～午後5時(10日は午後4時30分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼選ばれた作家の日本画・洋画・彫刻立体・工芸・デザイン・書・写真の作品を展示します。

入場料▼無料

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼選ばれた作家の日本画・洋画・彫刻立体・工芸・デザイン・書・写真の作品を展示します。

入場料▼無料

『尾西ウィンドオーケストラ 第82回定期演奏会』

【問合せ先 尾西ウィンドオーケストラ】

☎(76) 1161

日時▼6月17日(日) 午後2時～

(開場は30分前)

会場▼尾西市民会館

内容▼会員による演奏会です。

入場料▼一般500円

中学生以下無料(要整理券)

中学生以下無料(要整理券)

【題字】 翠山武屋
【編集・発行】 一宮市芸術文化協会

【連絡先】 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213